



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月1日

上場会社名 三菱電機株式会社 上場取引所 東
コード番号 4341 URL <https://www.seiryodenki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西井 希伊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部本部長 (氏名) 平塚 俊光 TEL 06-6345-4160
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,760	10.1	△138	—	△138	—	△171	—
2025年3月期第1四半期	3,415	20.4	△243	—	△241	—	△331	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △173百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △322百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△50.75	—
2025年3月期第1四半期	△94.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,048	5,004	55.3
2025年3月期	12,140	5,434	44.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,004百万円 2025年3月期 5,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	1.1	190	△32.0	200	△27.8	130	60.0	37.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	3,500,000株	2025年3月期	3,500,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	221,832株	2025年3月期	1,832株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	3,384,542株	2025年3月期1Q	3,498,168株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善、訪日観光客の増加などを背景に、緩やかな回復基調となりました。一方で、不安定な為替動向の継続、物価上昇、米国の関税政策の影響などに加え、世界的な地政学的リスクの上昇もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの関連する業界では、情報通信端末事業におきましては、販売インセンティブ方針変更により事業環境は引き続き厳しい状況が続いているものの、徐々に落ち着きを取り戻しつつあります。情報通信システム事業におきましては、依然として頻発する豪雨災害や地震被害などから、国民の安心・安全な暮らしを守る社会インフラの整備・強化が継続しております。加えて、地政学的リスクに起因し、有事対応の必要性も高まっております。また、各業界においてデジタルトランスフォーメーション(DX)の動きがさらに加速しており、IoT・AI、大容量通信などの新技術を活用した製品・サービスがさまざまな分野で導入され、活用が進んでおります。

このような状況下、当社グループの売上高は、携帯端末修理再生では修理台数が減少したものの、官公庁向け大口案件増、携帯端末販売の販売台数増、子会社である西菱電機エンジニアリングの受注増などにより増収となりました。経常損益は、人件費を中心とした固定費増を売上規模増加によりカバーし、増益となりました。なお、新規事業開発、規模拡大に向けた社内体制強化、販売促進などの積極的な投資は継続しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高37億60百万円(前年同期比10.1%増)、営業損失1億38百万円(前年同期は営業損失2億43百万円)、経常損失1億38百万円(前年同期は経常損失2億41百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億71百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億31百万円)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[情報通信端末事業]

情報通信端末事業におきましては、携帯端末修理再生は修理台数が減少したものの、携帯端末販売の販売台数増などにより増収となりました。利益面では人件費を中心とした固定費増を売上規模増でカバーし、増益となりました。

これらの結果、情報通信端末事業での売上高は20億28百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は2億15百万円(前年同期は営業利益1億99百万円)となりました。

[情報通信システム事業]

情報通信システム事業におきましては、官公庁向け大口案件の増加、子会社である西菱電機エンジニアリングの受注増を主因に増収となりました。利益面では、売上規模増を主因として増益となりました。なお、新規事業開発、規模拡大に向けた社内体制強化、販売促進などの積極的な投資は引き続き推進しております。

これらの結果、情報通信システム事業での売上高は17億32百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益は62百万円(前年同期は営業損失63百万円)となりました。

なお、情報通信システム事業における官公庁向けの売上高は、通常の営業の形態として、第4四半期に完成する工事の割合が大きいため、経営成績に季節的変動があります。

(2) 当四半期の財政状態の概況**(流動資産)**

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、74億66百万円(前連結会計年度末は105億13百万円)となり、30億46百万円減少しました。主な要因は、売上高の季節的変動による受取手形及び売掛金の37億27百万円減少によるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、15億81百万円(前連結会計年度末は16億27百万円)となり、46百万円減少しました。主な要因は、繰延税金資産の23百万円減少によるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、37億88百万円(前連結会計年度末は64億55百万円)となり、26億66百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の17億7百万円減少、短期借入金の9億円減少によるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2億54百万円(前連結会計年度末は2億50百万円)となり4百万円増加しました。主な要因は、固定負債その他の3百万円増加によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、50億4百万円(前連結会計年度末は54億34百万円)となり、4億30百万円減少しました。主な要因は、自己株式の取得1億76百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失1億71百万円、剰余金の配当80百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。

また、不安定な為替動向の継続や世界的な地政学的リスクの上昇などによる資源・エネルギー及び原材料価格の高騰など業績への影響が懸念されております。業績予想においては、現段階での影響予測を反映したものとしておりますが、今後の状況などによって業績は大きく変動する可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	905	1,412
受取手形及び売掛金	7,471	3,744
契約資産	520	532
商品及び製品	653	593
仕掛品	181	305
原材料	528	506
その他	252	372
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,513	7,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,312	1,312
減価償却累計額	△813	△823
減損損失累計額	△128	△128
建物及び構築物 (純額)	370	360
機械装置及び運搬具	318	323
減価償却累計額	△311	△311
減損損失累計額	△1	△1
機械装置及び運搬具 (純額)	5	10
工具、器具及び備品	799	789
減価償却累計額	△582	△577
減損損失累計額	△107	△108
工具、器具及び備品 (純額)	109	104
土地	278	278
建設仮勘定	0	0
有形固定資産合計	765	754
無形固定資産		
その他	151	135
無形固定資産合計	151	135
投資その他の資産		
投資有価証券	118	115
繰延税金資産	133	109
その他	478	484
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	711	691
固定資産合計	1,627	1,581
資産合計	12,140	9,048

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,035	2,328
短期借入金	900	—
未払法人税等	108	18
賞与引当金	524	157
短期解約損失引当金	1	2
製品保証引当金	12	12
受注損失引当金	12	14
工事補償引当金	24	24
その他	835	1,231
流動負債合計	6,455	3,788
固定負債		
退職給付に係る負債	19	19
資産除去債務	173	173
その他	57	61
固定負債合計	250	254
負債合計	6,706	4,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	523	523
資本剰余金	498	498
利益剰余金	4,352	4,100
自己株式	△1	△177
株主資本合計	5,373	4,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	59
その他の包括利益累計額合計	61	59
純資産合計	5,434	5,004
負債純資産合計	12,140	9,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,415	3,760
売上原価	2,473	2,632
売上総利益	942	1,128
販売費及び一般管理費	1,185	1,266
営業損失(△)	△243	△138
営業外収益		
受取配当金	1	1
保険事務手数料	0	0
その他	1	1
営業外収益合計	3	2
営業外費用		
支払利息	0	1
支払手数料	0	0
その他	1	1
営業外費用合計	1	3
経常損失(△)	△241	△138
税金等調整前四半期純損失(△)	△241	△138
法人税、住民税及び事業税	10	9
法人税等調整額	79	23
法人税等合計	90	33
四半期純損失(△)	△331	△171
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△331	△171

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△331	△171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△1
その他の包括利益合計	8	△1
四半期包括利益	△322	△173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△322	△173
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度により発生した原価差異のうち、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるものについては、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	情報通信 端末事業	情報通信 システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,933	1,481	3,415	—	3,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	1,933	1,481	3,415	△0	3,415
セグメント利益又は損失(△)	199	△63	135	△379	△243

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3億79百万円は、主に各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門に係る全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	情報通信 端末事業	情報通信 システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,028	1,732	3,760	—	3,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	2,028	1,732	3,760	△0	3,760
セグメント利益	215	62	277	△415	△138

(注) 1. セグメント利益の調整額△4億15百万円は、主に各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	37百万円	39百万円